

PATIO

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。



取材先で見つけた笑顔
を掲載してみました。

みんなの広場 PATIO

広告

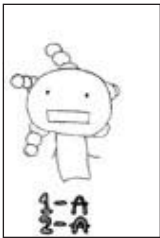
広告面

広告面

広告面

**(E) よってがっせで
楽しいひととき**

大野良雄さん(谷中蛭沼)
毎月、谷中蛭沼のよってがっせに行っています。みんなの顔を見るのが楽しみです、第1回目から欠かさず参加しています。会の中でも、私が一番最高齢なんですよ。



柿沼歩さん(明野)

**(*) おかけ様で愛犬が
見つけられました!**

PNドンの飼い主より
先日、14年間家族の一員として生活してきた愛犬のドンが突然いなくなりました。家族総出で、シンボルタワー周辺や近所をくまなく捜索。結局、警察から連絡があり、ひん死の状態のドンを引き取ることができました。堀にはまっていたところを、だれかが警察に連絡してくれたとのこと。協力してくれた皆さん、そして、警察に連絡してくれたかた本当にありがとうございました。



清水彩夏さん(上下西宿)

**(◇) 沖繩の郷土料理を
初めて作りました**

長島はつ子さん(秋妻)
邑楽町公民館主催のお国自慢料理講座(沖繩編)に参加して、初めて沖繩の郷土料理に挑戦しました。家でもぜひ作って、沖繩の気分を味わってみたいです。

投稿大募集

「PATIO」では皆さんからの投稿を大募集中です。

- ①イラスト・絵手紙
- ②4コマ漫画
- ③詩・ボエム
- ④短歌・俳句
- ⑤告知コーナー
- (イベントの案内やサークル結成の呼びかけなど)
- ⑥「譲ってください・譲ります」
- もちろん、町に対するご質問やご意見も大歓迎です。

ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載させていただいた人には、粗品を進呈します。
※誌上匿名でもOKですが、記念品の郵送や内容の確認などのため必要ですので、必ず実際の氏名・住所・電話番号・年齢をお書き添えください。
●あて先
〒370-0692 (住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎ 47-5007 ☎ 89-0136
E-mail koho@town.oraganuma.jp

**(*) また役場に行ったら
貸してくださいね!**

小暮さくらちゃん(水立大愚)
お母さんが役場に用事があるときは、いつも一緒に going しています。お母さんが用事を済ませている間、福祉課のカウンターにあるぬいぐるみで遊ぶのが最近のお気に入り。
私は、ぬいぐるみで遊ぶのがとても大好きなので、今度行ったときも、また貸してもらえたらうれしいです。



PN.虎次郎

**(V) 学校の授業で初めて
そば打ち体験したよ**

須永春香さん(西ノ根宮内中)
学校でそば打ちの体験授業がありました。初めてそばを打ちましたが、めん棒でそばを伸ばすのが難しかったです。みんなで打ったそばは、おいしかったなあ。



PN.ニコラス☆

**(V) 喜びを感じ、何だか
心がいやされました**

誌上匿名希望
私は、現在リハビリのため町の病院に入院しています。邑楽町や多々良沼を知らない人たちの中で時間をもてあましていたところ、たまたま広報おららを見つけたので手に取ってみました。ページをめくるたびに、自分の住んでいた町の動きを知る喜びを感じ、いつときがいやされました。病院のラックの数ある広報誌の中でも、広報おららは一段と輝いて見えました。



PN.米国出身セルロイド

**(V) 邑楽町に引っ越して
毎日ハッピーです!**

PNゆきん子
家族で邑楽町に引っ越して来て、はや3年がたとうとしています。幼かった子どもたちも、学校でお友達ができ、毎日充実した学校生活を送っています。
私も邑楽町に引っ越して来てからは、子どもたちの健やかな成長を見ながら、毎日充実した日々を送っています。子育てをするのから自然に開かれ、伸びやかな環境の邑楽町がよいと改めて実感しました。



柿沼瑞さん(明野)

**(A) ピザやナポリタンを
食べたかったなあ...**

PNデブネコ
お花屋さんイタリアンレストランが合体した、白いテントのお店が最近移転。今度はお花だけを売ること、あの時、お花を買うだけでなく、ピザやナポリタンを食べればよかったかしら??



- イベント
- 上州邑楽七福神巡り
- ▼ 期日 4月10日(日)
- ▼ 出発時間 午前9時
- ▼ 集合場所 シンボルタワー前
- ▼ 内容 邑楽七福神を中心とした、道中の自然と文化財を約7時間かけて巡ります
- ▼ 持ち物 弁当・飲み物、雨具など
- ▼ 参加費 1000円(保険代)
- ▼ 申込方法 当日申し込みを受け付ける
- ▼ 問合せ 上州邑楽七福神を愛する会(TEL ☎ 88-14709)
- コンサート
- 明治大学マンドリンアンチアリーコンサート
- ▼ 期日 5月9日(日)
- ▼ 時間 午後6時開演 午後5時30分開場
- ▼ 会場 館林市文化会館(館林市城町)
- ▼ 入場料 3,500円(当日4,000円)
- ▼ 内容 明治大学マンドリンクラブとT.W.エモワの共演
- ▼ 問合せ 高源寺(TEL ☎ 88-10791)

がんばってます No.241



私が折り紙ブロック創作を始めたのは、今から5年前になります。本屋で、折り紙ブロック創作の本を見つけたのがきっかけでした。それまでは13年前に患ったリュウマチで、体を思うように動かすことができなくなっていました。元氣だったころのように外に出ることも少なくなり、気持ちも暗くなりがちでした。でも、折り紙ブロック創作と出会って、自分ができていることを発見したと思いま



長柄公民館で行われた子ども手作りだるま教室

HUMAN NOW 自分で見つけた創る喜びをみんなの笑顔につなげたい

鈴木良子さん (前瀬戸宿・8区)



すずきよしこ ● 1956年生まれ。主婦。13年前にリュウマチを発病し、現在は病とうまく付き合いながら、折り紙ブロック創作を続ける。好きな言葉は「やる気・元氣・勇氣」。趣味は、創作手芸など。

した。今でも障害は残り右腕を肩まで上げることも困難ですが、指先は動かせるのでいろいろな作品を楽しく工夫して作っています。折り紙ブロック一つひとつを作り、それらを組んで作品を完成させる創作。作品によつてはブロックが何百、何千個と必要な作業です。力と根気が必要な作業です。また、広告のチラシなどでブロックを作り、お金をあまりかけずに作品を完成させることができるのも魅力の一つ。今年は長柄公民館で、お年寄りや子どもにも教える機会に恵まれました。みんな悪戦苦闘しながらも、楽しく作ってくれました。そのときのみんなの笑顔を見るだけで、達成感と元氣をもらったような気がします。こうして楽しみながら創作できるのも、家族の支えがあったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。何か一つでも自分のことができることがあるのはうれしいですね。次は「何を作ろう」と楽しみが増えます。これからも前向きに、自分のできる範囲のことをやって、より多くの人たちの喜ぶ笑顔をみたいですね。

No.259

WELCOME おうらの仲間たち

邑水会

水彩画サークル邑水会は、ヤングプラザ主催の水彩画で楽しむ講座の参加者を中心に平成21年8月に結成しました。メンバーは、30～60歳代の男女11人。毎月第1・3金曜日の午後1時～3時までヤングプラザで活動しています。サークルでは和気あいあいの中で、水彩画のレベルアップを目指し、楽しく活動しています。水彩画は道具さえそろえば、だれでも手軽に始めることができます。また描きたいときに、すぐ描けるので趣味にも最適。現在、メンバーを募集中。初心者大歓迎ですので、興味のある人や水彩画を趣味にしたい人は、ぜひ見学に来てみてください。お問い合わせはヤングプラザ ☎ 89-1501へ。



わが家のアイドル



羽鳥敦子さん・彩音ちゃん (上下西宿・7区)

彩音は、明るくて元気な子です。人見知りをしないので、だれにだっこされても泣きません。最近は、家の中で遊ぶことより、外で遊ぶことの方に興味が向いています。女の子ですが、車や電車のおもちゃがとてもお気に入り。好き嫌いせず何でも食べますが、イチゴやにんじんが大好き。とにかく好奇心おうせいで正義感の強い、思いやりのある子に育ってほしいと願っています。

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人のかたに500円の図書カードをプレゼントします。

- 【今月の問題】
第1問 2月3日、各保育園、幼稚園で行われたのは？
A.種まき B.豆まき
C.えほうまき (ヒント表紙)
第2問 2月13日の翌日は何デー？
A.バレンタインデー B.ホワイトデー
C.愛する人のパースデー (ヒント10ページ)
応募方法 はがきに、答え(例：第1問一A)・住所・行政区・名前・年齢を書いて送ってください。
あて先 〒370-0692邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 3月15日(当日の消印有効)
※当選者は広報おうら3月号で発表します。
【2月号の当選者】(応募数34通、全問正解31通)
川島愛 (11区) 卯月良江 (15区)
市川大貴 (20区) 木村多美子 (20区)
金子美幸 (23区) 小暮さくら (23区)
木本香菜 (25区) 柿沼大和 (27区)
高山修斗 (33区) 岡田江莉香 (34区)

俳句

立春を待ち侘びたりや稚子訪ふ
冬菜摘むヨイショと揺れる影二つ
バレンタイン雪の花散る桜土手
餅つまむ器用にもぐって小白鳥
思人の計報しみじみ花の雨
離壇に二人並んでシャッター切る
幼児は日毎に重し離の膳
梅々香や紙に吸いとる残り墨
遠き日の夢懐しむ春炬燵
記念日を忘ぬ二月亡夫の声
梅々香のしみこんでいる手紙かな
春風を紙にしたため一行詩
紅梅や亡き父母思う昨日今日

根本 康男
小島 啓一
長 政夫
神谷公太郎
神谷 文江
鷲尾 淑子
小林なみ子
中村 悦子
赤坂 花子
真下 君子
西村 静江
小林テル子

短歌



残されし白菜二つ畑中出番なくとも花咲くを待つ
新しき仲間ふえるを期待して声朗朗と歌え始
良い年を追いつ求めて古稀すぎぬこんなものかと足止め思う
余命聞きゆるく脈打つ義父の手を握れば温き点滴の下
冬本番凍結予防に水切りし外のポンプに挿入し着せる
春からは中学生の孫娘明るく育ちて我を気使し
年重ね誰に気兼ねもなくなりて自由気ままな一日は暮れぬ
父逝きし季めぐり来て散るもみじ空に一瞬止まるかと見ゆ
娘ら帰り無事到着の知らせ待ち箱根駅伝夫と見ている

大塚 博司
坂橋 浩子
福田 芳宏
菅谷千枝子
横山 輝子
伏島 栄子
横山ヒサ江
滝本 和恵
山崎 静子

文芸